

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	252009	事業期間	平成 25 年度～平成 29 年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
ZOOLOGICAL SCIENCE 論文による 多様な Open Access 発信		公益社団法人 日本動物学 会	会長 武田 洋幸
学術刊行物の名称			(略称)
ZOOLOGICAL SCIENCE			ZS

【平成 27 年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
○ A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>研究の遂行状況としては、研究計画の骨子となる、これまでの ZS 論文のデータベース化が順調に進捗し、ZooDiversity Web の原型が完成し運用を開始していることから、ZS 論文を通じたこの方面の国際発信のための準備が進んでいると評価できる。また、評価指標となっている、論文投稿数は減少しているものの、アクセス数は増加している点は評価できる。</p>	